

地域包括ケアシステムの継承

30年余り続いた「平成」も終わりを告げます。「平成」になって始まったことに消費税（平成元年）、新幹線のぞみ（平成4年）、サッカーJリーグ（平成5年）、携帯電話（平成7年）などがあります。また、いろいろなハラスメント（嫌がらせ）が定着（？）したのも「平成」です。スポーツ界でもパワハラが問題になりました。その構造は、「鍛え」と称して行われていた言動による指導で育られた「昭和」世代が、今度は指導者側になり自分が受けていたのと同じ指導を「平成」世代（平成生まれとは限らない）に行ったことも一因です。

私が若いころの医師の世界でも同様な状況がありましたが、今同じことを若い医師に行ったら間違いなく社会問題です。「昭和」の当たり前が「平成」ではもう異常になったとも言えます。もちろん「昭和」の良いところはありますが、重要なことは、若い人に一人前になってもらいたいという心が指導者、上司や組織にあるかどうかだと思います。

「地域包括ケアシステム」は、本人（乳幼児～高齢者）がどこ（在宅、病院、施設）にあられようが、どのような状態（健康増進、介護予防、急性期・慢性期疾患、廃用、終末期など）であろうが、保健・医療・介護・福祉・生活などでその人に関わる専門職、行政、地域住民（NPO、民間企業も含む）が本人・家族のニーズに応じて継続的に連携するシステムです。ご承知のように“みつぎ”はその発祥の地であり実践の地です。山口昇名誉院長の信念の結晶とも言えるこの“みつぎ”の「地域包括ケアシステム」を時代に即して継続しさらに発展させることは、“みつぎ”の使命であり、将来の日本の浮沈にかかわることです。

しかし、忘れてはならないのは住民・家族のニーズに応えることが目的であり、「地域包括ケアシステム」はその手段だということです。そして「地域包括ケアシステム」が継続・発展

するために欠かせないのが「職員（スタッフ）」です。特に「平成」や「令和」の世代のスタッフが生きがいややりがいを持ち、自分自身の専門を生かしつつ、この「地域包括ケアシステム」に関わってくれるかどうかにかかっています。そのために経験値が高い各部署の責任者（昭和世代）や事業体全体（組織）に求められているのが、“みつぎ”の「地域包括ケアシステム」を担う「平成」や「令和」の世代を何としても輩出していこうという信念であり情熱ではないでしょうか。



院長

沖田 光昭



平成31年度 新採用職員

鼠径ヘルニアとは

鼠径部（足の付け根あたり）から、腹腔内臓器（腸・脂肪・卵巣など）が脱出し、腫れあがり、痛みを伴う病気です。特に起立時に症状が出やすいことが特徴です。

小児～高齢者まで幅広い年齢層の方に発生し、比較的多い疾患です。



右鼠径(そけい)部の膨らみ(男性)

鼠径ヘルニア修復手術を受けている方は年間約13～15万人（厚生労働省2016年統計）です。

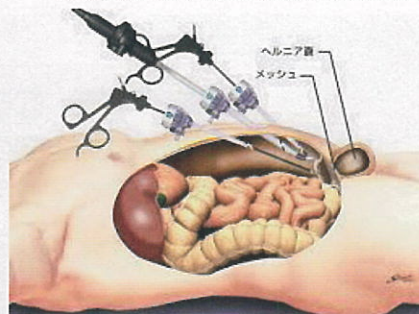
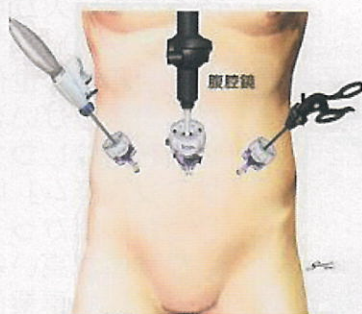
鼠径ヘルニアになりやすい人は、高齢者、るいそう（痩せている方）、反対側のヘルニア既往のある方、前立腺摘出術を受けた方、腹圧のかかる仕事や運動に従事することが多い方、慢性的な腹膜透析を行っている方（もしくは行っていた方）、喫煙者などと言われています。明確な予防方法はありません。治すためには手術が必要です。

手術には合併症が起こることがありますが、再発率は3～5％で、慢性疼痛が3％程度で、他には創部の感染や血腫・水腫といったものが挙げられます。

もしも、治療（手術）を受けなかったら、臓器が脱出したまま戻せない方がおり（嵌頓）、場合によっては緊急手術が必要となります。頻度としては3人/1000人/年間と報告されています。

手術方法はいろいろありますが、近年では腹腔鏡を用いての手術が広く普及しており、紹介します。

TAPP:Transabdominal preperitoneal approach 法(腹腔鏡下経腹的腹膜前法 通称:タップ)



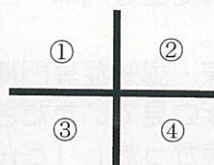
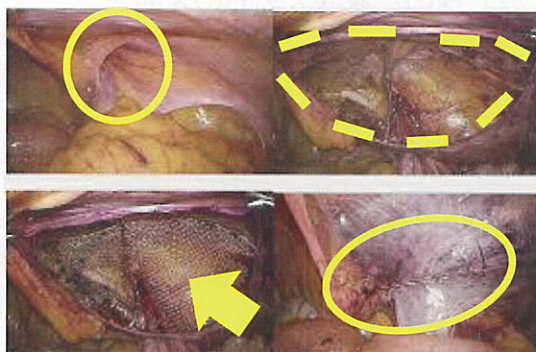
お腹に3か所の穴（大きいもので12mm、小さいもので5mm）を開けて、カメラ（腹腔鏡）と手術用鉗子を腹腔（お腹の中）内へ挿入し、テレビモニターを見ながら、ヘルニアを修復する方法になります。

No.43

鼠径ヘルニアの治療



外科医長
河合 昭 昌

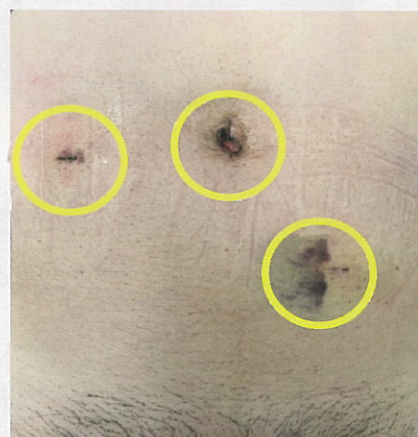


- ①お腹の中からみた鼠径ヘルニア
- ②腹膜を切開した後
- ③メッシュ（人工物）を敷いて補強
- ④腹膜を縫合閉鎖

この術式の長所は、①手術に伴う傷が小さい ②痛みが少ない ③ヘルニアの確実な診断が出来る ④症状のない反対側のヘルニア診断も可能 ⑤同じ傷で両側ヘルニアの手術が可能 ⑥退院後運動制限が必要ないなどが挙げられます。

短所としては

- ①全身麻酔が必要。（腹腔鏡を用いない場合は、腰椎麻酔（下半身のみの麻酔）でもできます。）
 - ②従来の手術方法と比較すると、手術時間が長くなる。（1時間～1時間30分程度かかります。）
 - ③手術手技が高度で、手技の習熟に時間がかかる。
- などが挙げられます。



手術後約1週間時点での手術痕

TAPPの治療スケジュールですが、鼠径ヘルニアと診断され、患者さんの状況から腹腔鏡下手術が可能と判断されることが前提です。外来で、術前検査（採血・心電図・レントゲン・CT・呼吸機能検査など）と歯科受診をしていただき、日程調整を行います。入院は手術当日の朝にしてもらい、午後から全身麻酔下で手術を行います。翌日に、術後採血・レントゲン検査を行い、食事を食べていただきます。経過が良ければ術後2日目に退院できます。

以上、鼠径ヘルニアに対するTAPPという比較的新しい手術方法に関して、ご紹介させていただきました。

2017年から当院で導入して、現在まで32症例の手術を行っており、皆さんに喜んでいただいております。興味や質問がある方は外科外来までお越しください。

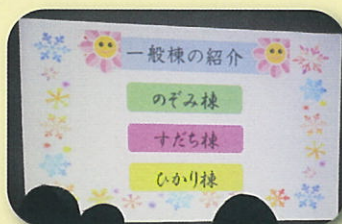
楽しく語りあった家族会

みつぎの苑

みつぎの苑では、毎年家族会を7月上旬に行っていますが、今年は7月に西日本豪雨災害があり行うことができませんでした。しかし、10月6日に、一般棟・認知症専門棟・ユニット棟のご家族22名の来苑を得て、無事行うことができました。

まず、スライドにより、一般棟・認知症専門棟・ユニット棟での利用者さまの日常生活や行事場面の様子をご家族に見ていただきました。ご家族からは「楽しそうな表情や笑顔を見ることができ良かった」「どんな生活をしていて、どんな行事をしてもらっているのかよく理解できた」等のご意見がありました。その後、ご家族と職員との意見交換の時間を設け、「豪雨災害時は大変だったでしょう」「いつも何かあれば丁寧にご連絡してくださり安心です」等、心のこもった温かい言葉をたくさんいただきました。

今後も職員一同、様々な行事や日頃のケアを通じ、利用者さま・ご家族の方々と、より良い関係が保てるように努めてまいります。



「鬼は外!福は内!」盛り上がった節分

デイサービスセンター

デイサービスセンターでは2月の行事として節分を行っています。

今年の節分は“鬼退治”ということで、職員が桃太郎、犬、サル、キジとなり、利用者さまと一緒に団結して新聞紙を丸めて作った豆に見立てた玉を「鬼は外!福は内!」と鬼に投げ、最後は桃太郎が鬼退治をしました。その後、鬼をやっつけた利用者さま全員に桃太郎からお礼のきびだんごならぬ“ミニボーロ”をお配りし、一件落着となりました。



利用者さまからは職員の変装に対し「皆似合っていたよ」「面白かった。1年分笑った」などと喜んでいただくことができました。この1年の無病息災と幸せをみんなで祈りつつ、笑いの多い節分となりました。

これからも、レクリエーションをはじめ、様々な季節行事を利用者さまと考え、より一層、明るく楽しく、来てよかったと心から喜んでいただけるよう取り組んでまいります。

～ええじゃんSANS A・がりの音楽に誘われて～

ケアハウス
「さつき」

ケアハウス「さつき」では、身体機能の低下や、高齢等を理由に、自宅で生活するには不安があり、ご家族による援助が難しい方が入居されています。

各々のお部屋で、簡単な炊事やプライベートな時間を楽しんでおられます。外出は自由にできますが、お一人では買い物に行くのが困難な方もいらっしゃるため、今年1月より、毎週月曜日に尾道市内の移動スーパー「はっぴい」が来るようになりました。ええじゃんSANS A・がりの音楽がスピーカーから流れて来ると、音楽に誘われて、皆さんがお刺身やお寿司、お弁当等々を手にとって品定めしながら、買い物を楽しめます。普段食べられないものを買えるとあって好評です。

また、以前より毎週金曜日、果物専門の「みづま」さんに来ていただいています。

皆さん「何を買おうかしら？」と目を輝かせて、わくわくしながら買い物をされます。

生活支援の一環として、地域の交流を通しながら、住みやすいケアハウス「さつき」を目指していきたいと思います。



こんにちは！ 尾道市北部地域包括支援センターです。

尾道市北部地域包括支援センターは、御調町・原田町・木ノ庄町・美ノ郷町で暮らす地域住民（主に概ね65歳以上の高齢者）の皆さんを、保健・医療・介護・福祉などの様々な面から総合的に支えるため設置された地域の中核機関です。各専門職員（主任介護支援専門員・保健師・看護師・社会福祉士など）が様々な相談に無料で応じ、それぞれの専門性を生かし、連携して「チーム」で支援を行っています。

住民の皆さんがいつまでも健やかに住み慣れた地域で暮らしていけるよう、総合相談窓口として当センターをご活用ください。



問い合わせ先 尾道市北部地域包括支援センター TEL0848-76-2495

がん検診に行こう！

～知って安心 調べて安心～

自分はきっと
がんにかからない



がんは他人ごとではありません!!

日本人の2人に1人が“がん”になり、3人に1人が“がん”で亡くなっています。
また、がんにかかる人の約3割は40～64歳の現役世代！

健康には自信があるし、
いまのところ症状がない
から大丈夫



どんなに気をつけていても
完全に防ぐことはできません！

がんは様々な要因で起こる病気です。
また、早期のがんは自覚症状がほとんどありません。

定期的ながん検診の受診が早期発見・早期治療につながります！

健康な体を維持するためには、
定期的なチェックが不可欠です。
とくにがんは、自覚症状のない早期
に発見することが重要です。



尾道市民のみなさまへ がん検診のご案内

御調地区集団健診	場 所	健診日
ヘリカルCT 肺がん検診	御調保健福祉センター	6月 7日（金）
みつぎいこい会館での集団健診	みつぎいこい会館	7月25日（木）
※御調支所新庁舎建設のため会場を変更しています		7月26日（金）
公立みつぎ総合病院での集団健診	公立みつぎ総合病院	8月～10月
レディース検診（乳がん・子宮頸がん検診）	御調保健福祉センター	12月18日（水）

※対象年齢、料金など詳細についてはお問い合わせください。

【問い合わせ先】 御調保健福祉センター 0848-76-2235



院内音楽会を開催します

🎵 場所 玄関ホール 🎵 時間 10時30分～11時



2019年度予定

4月15日(月)	10月 7日(月)
5月15日(水)	11月15日(金)
6月 7日(金)	12月25日(水)
7月 4日(木)	1月 7日(火)
8月 7日(水)	2月14日(金)
9月19日(木)	3月 3日(火)



緩和ケア病棟
からの
お知らせ

あなたもホスピスボランティアを はじめませんか？



ボランティア内容：生け花、病棟内の飾り付け、ティーサービス、イベントの手伝い、図書整理、抹茶サービス、バンド演奏、縫い物、遺族会や病棟見学会の手伝いなど…

*活動前に、養成講座と面接などを予定しております。

(※面接の日程は後日お知らせします)

<オリエンテーション 日程> 6月12日(水) 17時～19時

*申込期限：5月24日(金)までに電話でお申込みください。

<場所> 御調保健福祉センター2階 機能訓練室

<申込・問い合わせ先> 公立みつぎ総合病院 緩和ケア病棟(ホスピス)

電話：0848-76-1328 (受付9時～20時)

職員の紹介

看護師

大 原 恵

私は、公立みつぎ総合病院に就職して6年目になります。

内科病棟を経験し今は急性期病棟で勤務しています。

まだわからないことや、知らないことが多く皆さんに迷惑ばかりかけていますが、教えてもらいながら毎日働いています。

休みの日は、友人とショッピングや食事に行ったりと楽しんでいます。

これからも先輩方、同僚たちと協力し楽しく働きたいと思います。

急性期病棟は忙しく、いろいろあって大変ですが体調に気をつけて頑張りたいと思います。



管理栄養士

半 瀬 志 保

公立みつぎ総合病院で管理栄養士として勤め始めて、3年目を迎えます。以前は特別養護老人ホームに勤務していました。その頃から「食べること」と「生きること」の繋がりを強く感じながら仕事をさせていただいています。まだまだ力量不足で、時に不安や悩みを抱えることもありますが、周りの環境に恵まれ、優しい先輩方や他職種のスタッフの方に指導していただきながら、充実した日々を送らせていただいています。

知識・経験ともに未熟ではありますが、患者さまの「食べること」を少しでも支えていけるよう努力していきたいと思います。今後ともご指導のほどよろしくお願いします。



作業療法士

細 井 由 紀

公立みつぎ総合病院に就職して2年目になりました。現在、回復期リハビリテーション病棟に勤務しています。

働く中で患者さま一人ひとりそれぞれの生活スタイルや楽しみ、大切にしていることがあると知ることができました。そのためそれらのことを1つでも多く退院後も行うことができ充実した生活が送れるような支援ができていたらと心掛けていますが、わからないことも多く先輩方にご指導をいただきながら日々業務を行っています。

まだまだ作業療法士として未熟ではありますが、日々勉強し患者さまやご家族の方に寄り添った支援をできたらなと思います。今後ともよろしくお願いします。



社会福祉士

和 田 美 由 紀

私は、平成30年4月から介護老人保健施設「みつぎの苑」で支援相談員として働いております。

前職はデイサービスの生活相談員をしていましたが、まだまだ未熟者で「地域包括ケアシステム」の奥深さを痛感しています。日々新たな発見があり、上司や先輩の皆さんに支えていただきながら業務に当たっています。相談員の役割として、内外への連絡調整は勿論のことですが、制度についてもしっかりと理解しておかねばなりません。

今後も学習と経験を積み重ね、多職種連携の一員として職務を全うできるよう精進してまいります。今後ともよろしくお願いします。



医師異動のお知らせ

新任医師



外科医長(健康管理部医師)
お ば た し ょ う ご
尾 畑 昇 悟

尾道総合病院より配属されました。地域の医療と健康増進に微力ながら貢献できれば幸いです。
よろしくお願いいたします。



内科医長
か わ さ き こ う へ い
川 崎 広 平

私は初期研修後の8年間、三原市医師会病院にて呼吸器疾患(肺癌・COPD・喘息・肺炎/間質性肺炎・結核・非結核性抗酸菌症など)を中心に診療をしてまいりました。この経験を活かしながら、公立みつぎ総合病院でも皆様の健康に貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



内科医師
や の じ ゅ ん
矢 野 潤

4月より、公立みつぎ総合病院に赴任いたしました矢野潤と申します。
地域の皆様に寄り添った診療を心掛けてまいりたいと思っております。
宜しくお願い致します。



リハビリテーション科医師
か た ひ ら け ん と
片 平 健 人

平成28年広島大学卒、ふるさと枠2期生の片平健人と申します。
患者さまの生活をより良くするために、医療だけでなく障害・介護・行政に関わることができる医師を目指しリハビリ科を選択しました。院内・前方・後方・家族・地域社会をつなぐ地域包括ケアシステムを体現できるよう精進してまいります。



介護老人保健施設みつぎの苑医師
し か た ひ ろ お
四 方 裕 夫

卒後38年、金沢医科大学に単身赴任で20年勤務し、広大や金医大は心臓血管外科、呼吸器外科、最後は血管外科講座を担当しました。ここでの勤務内容は今までと全く異なりますが、気持ちを切りかえてジョギングなどしたいと思います。
どうぞ宜しくお願いします。



総合施設附属リハセンター所長(医師)
は ま な か よ し は る
濱 中 喜 晴

保健福祉総合施設附属リハビリテーションセンターに勤務することになりましたので、よろしくお願い申し上げます。

研修医



歯科研修医
い ず も と さ き
泉 本 彩 季

退任医師

内科医師 おお た に と し ひ と
大 谷 俊 人

内科医師 い の う え あ さ み
井 上 亜沙美

医科研修医 ま つ の し ほ
松 野 志 歩

医科研修医 た け な か め ぐ み
竹 中 萌

歯科研修医 い ま ど え い じ
今 戸 瑛 二

基 本 理 念

地域包括ケアの実践と地域包括ケアシステムの構築
及び住民のための病院づくり

公立みつぎ総合病院科別診療割表

平成 31 年 4 月 1 日改定

TEL0848-76-1111

	科 目/曜 日	月	火	水	木	金	土	備考
午前	内 科	一 診	渡 辺	第2・4 今村	渡 辺	今 村	渡 辺	(予約診療)
		二 診	川 崎	川 崎	川 崎	矢 野	矢 野	
		三 診	矢 野	佐々木	(循環器内科) 須 澤	山 本	佐々木	
		四 診	奥 本	山 本	(神経内科) 広島大学	(腎臓内科) 奥 本	山 本	
		五 診	佐々木		今 村			
	小 児 科	上 村	上 村	上 村	上 村	上 村		
	外 科	大 塚	菅 原	河 合	松 本	菅 原		
	栄養サポート・ステーション	平 井						
	整形外科 (リウマチ科)	一 診	林	林	林	石 井	茂 木	(予約診療)
		二 診	石 井	広島大学	坪 河	広島大学	坪 河	
		三 診	河 合					
	脳神経外科	松 岡	広島大学	西 村	松 岡	出 端	広島大学 (脳血管内治療専門外来) (第1・第3)	(予約診療)
	産 婦 人 科	眞 野	眞 野	眞 野	眞 野	眞 野		
	泌 尿 器 科	上 田	上 田	上 田	上 田	上 田		
	眼 科		広島大学	広島大学		広島大学		
	耳鼻いんこう科	広島大学	広島大学	広島大学		広島大学		
	精 神 科	塚 原	塚 原	塚 原	塚 原	塚 原		(予約診療)
	皮 膚 科	大 原	大 原	大 原	大 原	大 原		
	リハビリテーション科	林 石 井	林	坪 河	石 井	坪 河		(予約診療)
	歯 科	占 部 日 浅 手 島 大 上	占 部 日 浅 手 島	占 部 日 浅 手 島	占 部 日 浅 手 島 名 原 (第2・第3・第5)	占 部 日 浅 手 島	第1・日浅 第3・手島 広島大学 矯正歯科 (第1・第3)	(予約診療)
午後	緩和ケア外来			松 本				(予約診療) 毎週 14:00~16:00
	禁 煙 外 来			川 崎				(予約診療) 毎週 14:00~16:00
	よろず相談外来					春 間		(予約診療) 毎週 13:00~16:00
	小 児 科 (予 防 接 種)	上 村 14:00~15:30		上 村 14:00~15:30				(予約診療)
	耳鼻いんこう科		子ども外来 15:00~16:30			子ども外来 15:00~16:30		
	精 神 科	物忘れ外来			物忘れ外来			(予約診療)
	歯 科	大 上	手 島	手 島	占部 日浅 (第1・第4) 名原 (第2・第3・第5)	手 島		(予約診療)

(休診日) 日曜日、祝日、第2・4・5土曜日、12月29日~1月3日

(診療受付時間) 午前8時00分~11時30分

(診療開始時間) 午前8時30分~(但し眼科・10時00分~)

ご意見、ご感想をお聞かせください

TEL 0848-77-0955 FAX 0848-77-0956

E-mail: tiiki@mitsugibyouin.com

ホームページは「みつぎ病院」で検索

患者さま並びに地域の皆さまと共に作成したいと考えております。ご要望をお待ちしております。

発行：尾道市立総合医療センター

公立みつぎ総合病院 広報誌編集委員会